

区政Now！（平成28年7月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

しあわせ



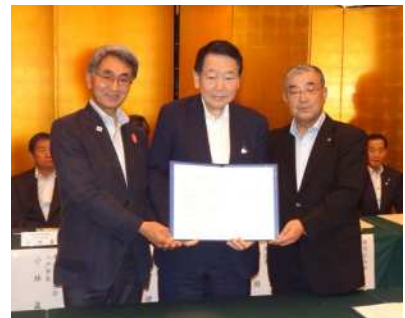
人口減少社会を迎え、地域経済の衰退などが懸念されている中、地域を活性化し持続可能な社会を築いてくためには、全国の自治体が協力し、発展していく関係を築いていくことが重要と考えています。

私はこのような考えのもと、住民の幸福追求のため各自治体が互いに高め合う取組である「幸せリーグ」をはじめ、特別区長会における「特別区全国連携プロジェクト」等を通して、全国の各地域と積極的に連携を図り、それぞれの基礎自治体の発展に向け、様々な取組を推進しています。

これら取組の積み重ねが活気あふれる日本を作り、ひいては荒川区の発展にもつながっていくものと考えております。今後とも皆様の御理解、御協力をいただきながら、職員一丸となって進めてまいります。

東北六魂祭 2016 に参加し、青森県市長会・町村会と連携協定を締結しました

6月25日、26日に青森県青森市で開催された東北六魂祭の開祭式に出席してまいりました。東北六魂祭は、東日本大震災の復興を願い、東北6県の各県庁所在地の祭りが一堂に会するものです。会場では特別区全国連携プロジェクトのブースを設置し、同プロジェクトと23区のPRを行いました。



協定締結式の様子

また、6月25日には特別区全国連携プロジェクトの趣旨に賛同してくださった青森県市長会・町村会（青森県内の40市町村）と連携協定を締結しました。この協定は、各地域の置かれた状況を尊重するとともに、多面的な連携・協力を推進していくことで、共存共栄を目指すことを目的としています。

今後とも、創意工夫を重ねて様々な取組を進め、全国の自治体との連携・交流を持続的に深め、元気な日本を作る一助となるよう邁進してまいります。

「幸せリーグ」第4回総会が開催されました

6月8日、日暮里サニーホールで「幸せリーグ」の第4回総会が開催されました。

幸せリーグは、住民の幸福実感向上に向けて、基礎自治体同士が相互に連携し、互いに学び合いながら、持てる力を結集して行政運営の一層のレベルアップを図るための連合体で、平成28年6月1日現在、95の基礎自治体が参加しています。



全国の自治体の長が荒川区に集まりました

総会では、参加自治体のうち55の首長らが一堂に集い、平成27年度決算報告のほか、6つのグループに分かれて議論を重ねている実務者会議の中間報告や、幸せリーグ顧問で東京大学名誉教授の神野直彦先生による講演が行われました。

主な事業

子育てしやすいまちを目指して

区では、子どもを産み育てやすい環境を整備し、すべての子どもが笑顔で健やかに育つことができるまちの実現を目指し、保育環境の充実に努めております。

7月1日、今後もマンション建設等により児童の増加が見込まれる日暮里地域に、小規模型保育施設「かんかんもり保育園」が新たに開設いたしました。さらに、11月には荒川二丁目に私立認可保育園の開設を、29年4月には、都立汐入公園内私立認可保育園、東日暮里三丁目私立認可保育園の開設を予定しております。

引き続き、待機児童の解消に向けて、保育施設の整備を進めるとともに、子どもたちが安全で快適に過ごせるよう保育の質の更なる向上に努めてまいります。



保育室の様子
(かんかんもり保育園)

いつまでも元気に生活していただくために

認知症は、早期に発見し、初期の段階で医療機関を受診し対応することで、進行を抑えることができるといわれています。そこで区では、自己チェックによる早期発見を目的とし、40歳以上の国民健康保険加入者、後期高齢者医療保険加入者や40歳以上の生活保護等無保険者を対象に、特定健診等の通知に「認知症チェックリスト」を同封いたしました。

認知症は誰でもかかる可能性があり、高齢化の進展とともに、年々増加することが予測されています。早いうちから予防に取り組むことが大切です。現在区内7か所で認知症予防のための「はつらつ脳力アップ教室」を開催しています。ゲームや創作活動、ウォーキングなどの運動を行い、頭と身体の活性化とともに楽しみながら仲間作りもできます。

また、昨年「ものわすれ相談」を地域包括支援センターで開始しました。さらに本年4月、区内8か所の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、普及啓発や医療機関をはじめとした関係機関との連携強化を図っています。

省エネ・節電をしながら夏を乗り越える

今年度から、個人や家庭単位で実践できる省エネ活動等に対して、エコグッズ等への交換が可能なポイントを付与する「あらかわエコポイント事業」を開始いたしました。この事業は、区民の皆さまに気軽かつ楽しみながら省エネ・環境活動へ参加していただくことを目的としています。

また、今年度も「元祖・本家あらかわ街なか避暑地」が53の区施設、20を超える民間事業所でスタートしました。街なか避暑地では、水やお茶等の飲料や飴の提供、氷柱展示等のイベントを実施するなど、より長く滞在していただけるような工夫をしています。この取組は、省エネ・節電効果が期待できるだけでなく、高齢者等の熱中症対策としても期待されています。



環境活動への参加(エコセンターの見学)

今後とも、区民のみなさまが無理なく継続できるような省エネ・節電事業を検討し、推進してまいります。